

地域をもっと良くしたい!けど...

こんなことで
困っていませんか?



地域づくりに関わる
担い手や
お金が足りない...

自治体だけ、民間団体
だけで地域づくりに取り
組むには限界がある



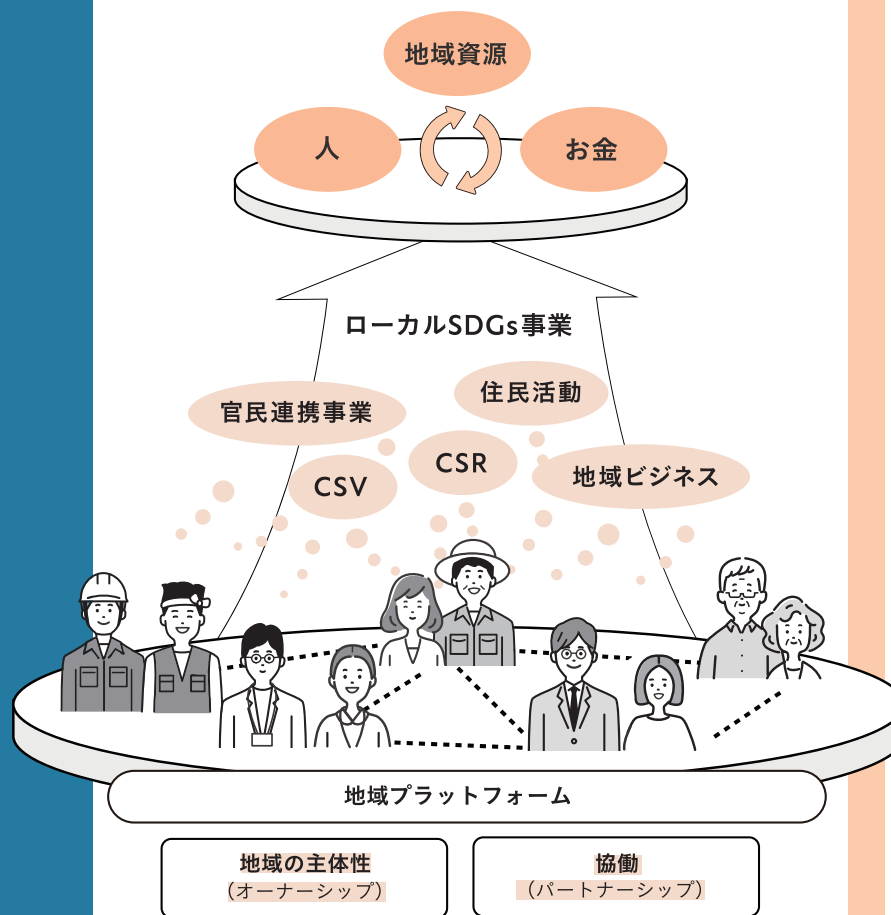
民間団体や住民が
地域づくりに関わる
「動機づけ」が難しい!

人や産業、森・里・海と
いった地域資源の活用の
仕方がわからない...



地域循環共生圏って?

環境・社会・経済の統合的向上



地域循環共生圏とは、それぞれの地域が固有の資源を活かし主体的に「自ら課題を解決し続け」、得意な分野でお互いに支えあうネットワークを形成していくことで、地域も国全体も持続可能にしていく「自立・分散型社会」を指す考え方です。地域で環境・社会・経済の課題を同時解決する事業を生み出していくことから「ローカルSDGs」とも呼ばれています。

こちらの QR コード (公式 HP) から
詳しい事例をのぞいてみてください。



一般社団法人ゴジョー 岩手県釜石市

高齢者や未就業者など福祉領域での支援対象者に向け、地元産の未活用の木質資源を「薪」に加工・販売する仕事を創出。社会参加の場づくりをはじめ、林業×福祉×労働×環境を掛け合わせた「サステナブルなまちづくり」に取り組んでいます。

写真出典：環境省グッドライフアワード公式HP



エネシフ湖北 滋賀県長浜市

「ゼロカーボン×〇〇」をテーマに職業・活動・年齢の異なる多様な人たちが集まり、ワークショップやローカル事業を実施。例えば、EV車の電気で祭りの提灯を灯す、高校生が地元工務店と教室の断熱改修を行うなど地域で資源とお金が循環する仕組みをつくっています。

写真出典：エネシフ湖北公式note



有限会社丸徳水産/一般社団法人MIT 長崎県対馬市

食害魚による磯焼けが進んでいた対馬の海を改善するために、未利用魚・食害魚を給食や島内外の飲食店で活用する「食べる磯焼け対策」や、地元漁師がガイドとして対馬の海を案内する体験型の海遊記ツアーを実施。地元漁師の収益向上及び持続可能な藻場再生に繋がっています。

写真出典：有限会社丸徳水産公式HP